

山田やすゆき市政報告

日本共産党岩国市議会議員

海士路町2 55 7
31 2985

しん旗
赤旗
お読みください
日刊 月 2900 円
日曜版 月 800 円



六月議会は六月六日から二三日まで開催されました。議員提出議案四議案(米海軍厚木基地機能の岩国移転に反対する要望議案、地方議会制度の充実強化に関する意見書、地方六団体改革案の早期実現に関する意見書、以上三議案は全会一致で採択。市民生活を支える道路整備の推進を求める要望決議は賛成多数、日本共産党市議団は反対)は採択されました。

私は、農業問題、道路問題、基地問題、農村総合整備事業の四項目で質問を行いました。その要旨を報告いたします。

地元野菜を

学校給食に

当面一日一品を

学校給食に地元の食材を活用するよう平成十四年六月議会で提案、同年十一月より「一月に一品・地元食材の日」を実施中。市の関係課、JA・生産者組合、農家等と連携をとり、「当面、一日一品」を学校給食に地元野菜を使用することを求めました。

教育委員会は、山田議員の指摘を踏まえ、関係団体等と協調し、利用促進に向けて実施すると答弁しました。

学校給食は大きな市場でもあり、学校給食に地場野菜を使用することは、農家への励みにもなり、地域経済への活性化にもなる。関係機関と協議し、早期に実施するよう要望しました。

遊休農地の

活用について

遊休農地が山口県平均8.2%に対して、岩国市は16.6%と高いことを指摘し、農業を志す人々に有利に土地の貸し借りが出来るように、また市民農園等の制度を広く市民に知らせ、遊休農地の減少に努めるよう質しました。

市民農園の募集や休耕田等の遊休農地を安心して貸し借りできるよう県、JA等と協調し取り組みを強めると答弁しました。

国病下の国道

交差点改良を

国道一八八号の慢性的な渋滞とJR山陽本線の踏切があることで、救急車が同所で立ち往生することがしばしば、これまでも国道一八八号と独立行政法人国立病院機構・岩国医療センター(旧国病岩国)前の市道との交差点の抜本的な改良工事を何度も求めていました。

今までは産業廃棄物最終処分場の「上位計画」があることを理由に具体的な対策を実施しなかったが、「上位計画」がなくなった為、早急に具体的な安全対策を実施するよう求めました。

対応は消極的

当局は、「国道一八八号の線形改良・取付箇所の拡幅と市道用地の確保が必要。土地利用や道路構造及び施行方法など新たな課題が生じ、岩国南道路からのアクセスを含め検討」と答弁しました。

庁内に

プロジェクトを

岩国南道路の南伸計画は何時実現するかが、わからない。市役所内にプロジェクトーした。△を設置するよう提案しました。抜本的な対策が実施されるまでの対策として、市道上(藤生町 27号線(灘中学校)等)の拡幅改良を求めました。

決議

議員提出議案第2号「米海軍厚木基地機能の岩国移転に反対する要望決議」を全会一致で採択しました。決議は「地域住民は長年にわたり航空機の騒音や墜落の危険性等、基地による諸障害に悩まされ続けており、これ以上の基地機能の拡大、強化は受忍の限度を超え、到底受け入れられるものではない。今回の移転は、冲合い事業完了後の新滑走路を使用したNLPの実施ということが危惧され、更に本市のまちづくりの根幹をなす総合計画にも支障を来すことが懸念されることなどから、これを到底容認することはできない」という内容で、政府に基地機能の移転を行なわないよう強く要望したものです。

岩国市議会

厚木基地機能岩国移転反対を



で囲まれた市町議会が反対決議

ブルーインパルス

民家・市街地上空での

アクロバット飛行

禁止を

五月五日の「日米親善デー」での「ブルーインパルス」の低空アクロバット飛行が、日米協議会での確認事項「市民の安全を確保するため、市街地上空4000フィート（1219m）以下の飛行を禁止」と国土交通省の飛行許可書に「家屋の密集している地域上空の飛行は極力避ける」項目に違反して、何度も民家の上空を低空飛行を繰り返していた事、又前日の四日そして、五日にも市民から300mの低空でアクロバット飛行したことに對して、自衛隊や市役所に苦情の申し入れがあったことなどを示し、市街地上空での危険なアクロバット飛行の禁止を米軍に申し入れるよう強く求めました。

中止要請は行わない

市はブルーインパルスはイベントの最大の呼び物で、毎年多くの市民が楽しみにしており、認知されている。中止要請は行わないと答弁しました。

農村総合整備事業

持ヶ峠遊歩道

無駄な公共事業の

典型

持ヶ峠の遊歩道事業は、平成十三年度の予算特別委員会で審議され否決されました。その後、規模内容等グレードを下げて、再上程されました。

この事業は、農林水産省と国土交通省のダム活用環境整備事業の一環で弥栄ダム周辺活性化計画に基づく全国初のモデル事業で当初計画予算八〇八〇万円、その後グレードを下げて六

五六五万円に変更しました。

委員会での説明によると、「この遊歩道は野鳥観察が楽しめ、ダム湖と瀬戸内海が一望出来、絶好のロケーション。遊歩道を契機に観光客の増加や朝市とかが期待、六万人の交流人口が見込まれ、遊休農地を体験農地として利用し、持ヶ峠地区の活性化につながり無駄な投資にはならない」と実施し、十七年三月完成しました。

私たち日本共産党市議団で完成後の遊歩道に行ってみました。規模は小さいけれど「無駄な公共事業の典型」だと指摘いたしました



木が茂って周辺が見えない

不要不急の公共事業財源

議員提出議案「市民生活を支える道路整備の推進を求める要望決議」に日本共産党市議団は反対しました。

この要望決議書の内容が「道路特定財源はすべて道路整備に充当」とあり、東京湾アクアラインに1兆4400億円、更に太平表側に東京湾口道路や関門海峡にもう一つの橋等全国6海峡を橋とトンネル建設に使われます。

日本共産党市議団は、道路特定財源を普通の税金と同じように用途を限定せずに一般財源に組み入れ、福祉や教育そして市民生活密着型の公共投資に使うべきだと主張しました。

山田議員農業委員に選出

学識経験者として岩国市議会から、山田泰之議員が議会から選出されました。投票の結果は下記の通りです。

- (当) 貴船 齊 23票
- (当) 長尾 光之 18票
- (当) 山田 泰之 16票
- (当) 笹川 満智子 14票
- (次) 江本 宏子 14票(同点くじ引き)
- 村井 眞一 12票



アサリ増殖試験調査同行 (6月22日)

全国的にアサリが壊滅状況になっています。岩国市は平成14年度から「あさり増殖試験事業」として、今津川及び門前川河口の自然干潟及び造成干潟に稚貝の放流と被覆網をかけて生育状況等の実験をおこなっています。

昨年、今津川河口で、今年、門前川河口にアサリ増殖調査に同行しました。